

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況						コメント
				できている	いる	ほぼできて	できていないことが多い	いない		
I 構造評価 (Structure)[適切な事業運営]										
(1)理念の明確化										
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	2	4			・「人生最良の時を過ごせるように」を事業所の理念として掲げ、利用者が安心安全に生活できるよう心掛けている。 ・職員全員が見えるように事務所に掲示しており、理念に沿った介護が出来るように努力している。	・職員全員が見える場所に理念を貼ることでほほえてきていると思う。 ・理念に沿って努力してられる。 ・見える場所に掲示していることで、意識しながら援助出来ていると思う。 ・安心安全については大変だと思うが、これからも努めていってもらいたい。	
(2)適切な人材の育成										
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		4	2		・理念に基づき、職員の心得として、利用者に対して敬意を持って接することを心掛けている。 ・ヘルパー会議で、職員の心得として理念を毎回読み上げ意識向上に努めている。 ・認識はしているが把握できていない所もあり、今後も努力していきたいと思う。	理念の意見をしっかりと把握していないと同じ方向性で進めないと思う。 ・昨年より自己評価が下がっている。 ・利用者からも信頼されている様子が伺える。	
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		2	4		・日々の業務の中で外部の研修に参加する機会を持つことが難しく、なかなか出来ずにいる。 ・事業所内での研修で、意見交換など行っている。 ・月に一回のミーティング時に技術向上のためのコーチングを受けている。	・外部の研修に参加すると新たな知識が得られたり、他事業所との情報交換の場になるので、ぜひ参加してもらいたい。 ・業務優先となることは理解できるが職員のモチベーションアップの為にも参加できると良い。事業所内研修は誰が講師をされているのか。職員が講師等をしてもらいたいと思う。 ・忙しいとは思いますが是非勧めていただきたい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価コメント
				実施状況					
				できている	いる	ほぼできて	できていない ことが多い	全くできて いない	
I 構造評価 (Structure)[適切な事業運営]									
(2)適切な人材の育成									
①	専門技術の向上 のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	1	5			・職員の能力開発については課題が多く残っているが、ケア方法など連絡ノートで周知し、個々に技術等について都度説明、指導している。 ・人員不足により職員の配置が難しい状況の時もあるが、職員間でフォローし合いながらサービスの質を落とさないように努めている。 ・人員不足の中ではあるが、無理のない配置がされており、職員の能力は十分に発揮されていると思う。	・少ない職員で対応する強みを生かして取り組んでもらいたい。 ・人員不足の中で職員配置が難しいと思うが、職員同士の連携を密に実施してもらいたい。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		5	1		・看護職との情報共有は主に電話やメールでの連絡、訪問時に口頭で伝えている。 ・利用者の状態変化など、情報共有がリアルタイムでできていない事がある。	・電話、メール、記録で情報共有を図ってください。 ・フェニックスネットの活用はどうですか。 ・状態変化があった際、共有がリアルタイムでできていないとあるが、連絡などは職員全員できないのか。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	できない	全くできていない	
コメント									

I 構造評価 (Structure)[適切な事業運営]									
(3)適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	1	4	1		・職員の人員不足も続いており、柔軟な人材配置は難しいと感じることがある。 ・適切な人員配置がされていると思う。 ・ケア提供時、利用者の希望に添えるように配置されている。	・少ない職員でも利用者の希望に沿って柔軟に対応できていれば良いのではないかな。 ・人員不足の解消が一番の問題。人員不足は業務改善、新しい取り組みにも影響するので早急の改善を期待する。 ・人員不足は仕事にも支障をきたし、対応も不十分になり、モチベーションも低下してしまう。揃えた人員を確保し続けていくことが必要。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	会議・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)をサービスの提供に適切に反映させている		3	3		・推進会議開催については、準備や進行に反省点が多くあった。改善していけるようにしたい。 ・推進会議でいただいた要望や助言を職員間で共有できている。今後に反映していける様に努めていきたい。 ・職員全体で理解を深めていくことが必要だと思う。	・委員の方から意見を頂ける貴重な場であるので有効に活用して頂きたい。 ・地域の方や他職種が多く集まると、もっと業務等に活かしていけると思う。 ・事例検討では関わるサービス全体がどのように連携したのかがわかると良いと思う。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況						コメント
				でき ている	る ほ ど でき てい る	でき てい ない こと が多 い	な い	全 く でき てい ない		
I 構造評価 (Structure)[適切な事業運営]										
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	4			・連絡ノートを活用し、情報を共有したり、都度報告、相談し合っている。 ・職員間のコミュニケーションを密に行い、連絡ノートを活用することで、情報の共有はできている。	・外部との連携を取り、情報共有ができています。 ・情報に漏れがあると生命に関わる事態になるので要注意で対応してほしい。	
(5)安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	4	2			・火災、水害時の避難訓練を利用者にも参加してもらい、年に 2 回実施し、その他にも定期的に確認している。 ・避難訓練を行い、職員間で気付いたことなど情報交換をして防災への意識を高めることができた。 ・夜間など職員の少ない時間帯の災害時対応について、避難訓練で得られたことを忘れずに対応できるようにしていきたい。	・職員が安心できるようにこれからも対応していってもらいたい。	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護について具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている。	5	1			・施錠できるロッカーで個人情報を管理しており、職員全体で個人情報保護に努めている。 ・ミーティングの場などで個人情報の管理などの注意喚起を行っている。	・これからも個人情報保護に努めていってもらいたい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況						コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	ない	全くできていない		
Ⅱ 過程評価 (Process)										
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
①	利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	1	5			・利用者の事前情報や職員間の連絡により生活のリズムを把握し、最適なケアの計画が提案されている。 ・一日の生活リズムに着目したアセスメントが提案されていると思う。	・適切にされている。 ・同じ時間帯が重なることもあると思うが、職員のほぼ出来ているということから、良い計画が立てられていると思う。 ・利用者の性格を理解し対応されていると感じる。 ・実施状況からほぼ出来ている。	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	1	4	1		・訪問時や電話などでお互いが情報を報告し、共有している。 ・責任者が参加しアセスメントを行い共有されている。	・体調面や精神面での情報提示が適切に出来ていると思う。 ・適切にされている。 ・実施状況からほぼ出来ている。	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている。	1	5			・ケアを日常生活動作の補足的な役割に位置付けており、利用者の状態維持、回復は主眼に置かれていると思う。 ・心身機能の維持、回復に基づく計画が作成され行なわれていると思う。	・計画書に基づき援助できていると思う。 ・実施状況からその人らしい在宅生活を支えるサービスの提供がされていると思う。 ・適切にされている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価						外部評価コメント	
				実施状況					コメント		
				できている	る	ほぼできてい	ことが多	できていない			ない
Ⅱ 過程評価 (Process)											
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供											
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成											
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高めすぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための「未来志向型」の計画の作成が志向されている		2	4		・利用者の自立サポートを念頭に置いた計画が立てられており、それに基づいたケアができています。 ・現状に目を向けた計画になっていると感じる。未来志向型の計画を作成するために、見直しも必要だと思う。	・自立支援に向けたケアプランの立案を期待します。 ・どうしても現状に目を向けた計画になってしまうのわかります。利用者本位のサービスを実践するために、リスクマネジメントをしっかりと行い、未来志向型の計画が立てられると良い。		
(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し											
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期小巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	3	3			・利用者の状況による変更などは柔軟に対応できている。 ・利用者に変化が生じた場合、ケアマネージャーと共に必要なサービス提供を検討、設定し訪問している。	・ほぼできていると思う。 ・対応できていると思う。 ・適切にされている。		
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる利用者等の状況変化の早期把握と計画への適宜反映が行われている	4	1	1		・毎月モニタリングを行い、状態変化などあれば責任者からケアマネージャーに報告し、検討した上でサービス計画に反映されている。 ・多少のタイムラグが発生することがある。 ・モニタリングにて評価を行い、状況変化など情報共有し適宜反映されていると思う。	・ほぼできていると思う。 ・対応できていると思う。 ・適切にされている。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況						
				できている	ある	ほぼできていない ことが多い	できていない	全くできていない		
II 過程評価 (Process)										
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービス提供										
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	1	5			・それぞれの視点で役割を果たしている。 ・介護職として気付いたこと、訪問看護からの意見など責任者を通して情報交換を行っている。	・適切に行えている。 ・訪問時に状況をすみやかに伝えてもらっている。 継続してください。 ・それぞれの視点から情報交換できているとの事なので良いと思う。	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	1	4	1		・訪問時に利用者の身体状態などの報告があり、その際に助言等していただいている。 ・状態変化のあった時など、受診の指示などいただく事もある。 ・もっと積極的に助言や指導を求めていると思う。	・改善すべき点があれば報告があると良いと思う。 ・看護からの指導や助言は新たな意見がもらえるので積極的に聞いてもらいたい。 ・訪問やアセスメント時など何かあれば相談してもらいたい。	
(4)利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		4	2		・利用者にはサービス開始前に説明を行い理解頂いており、日常の些細な対応にも自立支援を念頭に対応できている。 ・そこまで詳しい説明はできていないように感じる。 ・サービスについての説明を理解してもらうのは難しいと感じる場面もある。	・契約時に同意をもらっても忘れてしまう事もあるので、その都度伝えながら行うと良いと思う。 ・アセスメントの内容により必要があればケアマネジャーとも情報共有、相談していきながら、機能維持を目指せると良いと思う。 ・契約時のみでなく、必要時に説明をされると良いと思う。 ・昨年度より自己評価が下がっている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					コメント	外部評価コメント	
				実施状況							
				できている	る	ほ ぼ ど でき てい る	でき てい ない こと が多 い	全 く でき て い ない			
Ⅱ過程評価 (Process)											
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供											
(4)利用者等との情報及び意識の共有											
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	1	5				・計画の作成後、利用者等に説明、確認を行い、サービスを提供している。利用者との相互理解はできていると思う。 ・利用者の理解を得ることは難しいと感じる事も多いが、都度説明を行い、理解を得られるように努めている。	・理解してもらえるように努めていると思う。 ・利用者の希望に沿った目標にすると理解しやすいのではないのでしょうか。 ・ほぼできていると思う。	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時、適切な報告・相談等が行われている		5	1			・状態の変化などあった場合、職員間で情報共有し家族への適時、適切な報告、相談等行なわれている。 ・責任者に任せてしまうことが多い。 ・家族等への報告が遅れないように努めている。	・職員一人一人が対応できるようになると家族等への報告が適時できるのではないのでしょうか。 ・責任者のみでなく、全員で直ぐに連絡できると良いと思う。	
2.多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント											
(1)共同ケアマネジメントの実践											
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	3	3				・月1回作成している評価表の他、訪問時や電話等で利用者の状態や変化を報告し、情報の共有ができている。 ・サービス提供日時など、介護側からの意見も出しながら、一緒に決めている。 ・利用者の状態など変化があった時は、速やかに報告することにより、責任者がケアマネジャーに報告、相談してくれているのでできていると思う。	・介護側から意見を出しているのは良いと思う。 ・適切に行えている。 ・利用者と医療の連携にはやや弱さがあるように思う。看護師が介入しているので相談して頂ければと思う。(褥瘡や体調不良時)	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		4	2			・利用者の状態などをみながら必要に応じてケアマネジャーに相談しケアプランに反映してもらえるようにしている。 ・もっと積極的に提案していきたいと思うが、現状それができていない。	・本人の意欲を損なわないよう、できる事を増やしていけると良いと思う。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価コメント
				実施状況					
				でき ている	る ほ ぼ で き て い る	でき て い ない こ と が 多 い	で き て い ない	全 く で き て い ない	
コメント									
II 過程評価 (Process)									
2.多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	1	3	2		・サービス担当者会議に出席し、情報の提供や共有が十分に出来ている。その他、電話や書面等での情報提供も行えている。 ・サービス担当者会議には、主に責任者が出席しているが、職員にも情報の共有がしっかりとされていると思う。 ・責任者に任せてしまっている。	・責任者に任せっきりではなく、サブリーダー等役割分担も必要だと思う。 ・適切に行っている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)						

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況						コメント
				できている	る	ほぼできていないことが多い	できていない	全くできていない		
II 過程評価(Process)										
2.多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(2)多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献										
(2)地域包括システムの構築に向けての、まちづくりへの参画										
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)							
3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(1)地域への積極的な情報発信及び提案										
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が迅速に行われている		2	3	1	・事業所内では会議の記録をいつでも見られるようにファイルが作成されている。 ・地域への情報発信は、体制が整っていない。	・推進会議のメンバーをもう少し増やして地域の方から参加してもらおうと発信がやりやすいと思う。 ・事業所内だけではなく共有スペースに置いて、皆が見れるようにしたら良いと思う。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			6		・人員不足で余裕がなく、地域への広報活動を行うことが難しかった。 ・職員間で地域へのサービスの必要性を考えていかなければと思う。 ・地域と交流する機会があれば積極的に広報活動をしていきたいと思う。	・地域へ積極的に出てもらいたい。 ・広報誌を活用し、町内回覧されてはどうか。 ・広報活動にこだわらず、まずは町内の集まりに参加したり、市や包括の勉強会に出席すると良いと思う。 ・是非地域でも活動していただきたい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況						コメント
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	できない	全くできていない		
II 過程評価 (Process)										
3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画										
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分理解している。		2	4		・理解はしているが十分とはいえないところもある。 ・地域包括ケアシステムについて研修が行われ、理解することができた。	・定期随時と何の為にやっているのかを理解してもらいたい。 ・なかなか理解するのは難しいが研修を行っており良いのではと思う。 ・研修会が出来たことは良かったと思う。	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		1	5		・人員不足と施設内での利用者が増えてきていることで、積極的に地域へ展開していく事ができていない。 ・地域へのPRを広く展開できなかった。	・地域へ出ていかないと孤立してしまい尚更地域との関わりが無くなってくると思う。 ・地域への貢献が実現できると良い。現状では外部への展開はできていないようすが。 ・地域へぜひ展開してほしいと思う。黒条地域の依頼増えていきそうな気がします。 ・地域へのPRを行っていただきたい。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※ 任意評価項目)							

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき てい る	でき てい ない こ とが 多い	い 全 く でき てい な い		
Ⅲ結果評価 (Outcome)									
①	サービス導入後の 利用者の変化	33	サービス導入により、利用 者ごとの計画目標の達成 が図られている	2	4			・責任者が目標達成の有無を確認している。 ・サービス計画が充実され、達成できるように努 力している。	・職員一人一人が目標を理解し、達成できているかも一人 一人が把握していく必要があると思う。 ・利用者の方へも状況を伝えると前向きな気持ちになる と思うので、ぜひ伝えてみてください。
②	在宅生活の継続に する安心感	34	サービスの導入により、利 用者等において、在宅生 活の継続に対する安心 感が得られている	3	3			・サービスを利用することで安心して過ごせて いただけている。引き続き観察していく。 ・安寧した生活が送れるようサポートが行なえて いると思う。 ・サービスの導入によって、安心感が提供でき ていると思う。	・ぜひ施設内だけでなく地域にも安心できるサービス提供 をお願いします。 ・利用者の安心感は得られていると思う。

外部評価コメント(質問事項) 及び 回答

項目番号	外部評価コメント（質問事項）	回 答
1	・安心安全に生活できるようにどのような心掛けをされているのか。	・常に笑顔でいるように心掛けている。利用者が身体動作で不安に思っていることも職員の見守りの中で生活することで安心に繋がっている。些細なことでも声かけをしている。
3	・月 1 回の技術向上のコーチングはどなたから受けているのか。内容等教えて頂きたい。	・施設長から高齢者に多い病気等について研修が行われている。 ・職員同士で意見を出し合い、利用者に向けた介助方法や対応の仕方などを学んでいる。
4	・能力開発についての課題はどのようなものがありますか。 ・課題が多く残っているとありますが、1 番の課題は何ですか。	・人員不足の中、能力開発に配慮した配置が難しいことが課題。 ・少ない職員での対応になる為、余裕をもった配置ができていない。
5	・状態変化があった際、連絡などは職員全員ができないのですか。 ・リアルタイムで情報共有できていない理由は何ですか。その理由を改善する対策はありますか。 ・フェニックスネットの活用はどうでしょうか。	・基本的に責任者が職員からの意見をまとめて連絡を行っている。 ・基本的には責任者が行なっている為、不在時は情報共有が遅くなってしまう。経験に応じて責任者以外でも連絡を行える体制を整えていく。 ・フェニックスネットは活用していない。
6	・利用者の希望に添えるように配置とは、具体的にどんなことですか。	・女性利用者の入浴介助では男性職員に遠慮される方も多くいる為、出来る範囲で女性職員が対応するように配置されている。
7	・具体的な反省点を教えてください。 ・職員全員が開催案内や会議資料、会議録を見ていると思いますが、反応はありますか。	・準備が間に合わず、資料などの配布も遅くなってしまった。会議においても準備不足からスムーズに進行することができなかった。 ・反応はあるが職員全体の意識がまだまだ足りないと感じる。
8	・昨年はタブレットの活用の工夫は特にしていないとの事でしたが、現在もおなじですか。 ・ケアマネージャーや訪問看護とはどのように情報共有しているのですか。	・現在もおなじです。 ・来館時や電話連絡で情報共有している。
9	・訓練には定期随時サービスを利用されていないサ高住入居の方も参加されていますか。	・サ高住入居者も参加されている。
10	・訪問の際は個人情報の持ち出しはしないですか。	・個人情報の持ち出しはしていない。
11	・提案した具体例があったら教えてください。	・義歯の管理が難しくなってきた利用者への口腔ケア追加など。
12	・アセスメントの情報共有、つき合わせはどの様に行っているのでしょうか。	・主に来館時に行なっている。
18	・内服管理などもアドバイスなどありますか。	・必要時アドバイスをもらうこともある。

19	・サービスについて理解してもらうために工夫していることはどんなことですか。	・特に工夫などはできていないが、なるべくわかりやすい言葉で伝えるように心掛けている。
21	・責任者に任せてしまう事が多いは昨年コメントにあったが、任せてしまう事のデメリットはどんなことですか。	・責任者の勤務状況により、連絡が遅れてしまう事がある。
23	・積極的に提案できない理由は何ですか。 ・どのようなサービスが地域にありますか。活用したことはありますか。	・専門職として自信をもって提案すべきだが、それができなかった。 ・現在お話ボランティアを活用されている方がいる。
24	・責任者の役割は決まっているのですか。 ・できていないことが多い方が2名いますが、どのようなことができていないと思いますか。	・主に会議出席や情報提供など行なっている。 ・責任者に任せきりになってしまうことがある為。
29	・地域と交流する機会はどの様に情報収集しますか。	・現在は余裕がなく情報収集できていない。

※貴重な評価・ご意見ありがとうございました。